

第2回 みらい育成シンポジウム

「財団の活動から得られた気付き」

一般財団法人 三菱みらい育成財団 常務理事

藤田 潔

2023.3.18

はじめに

三菱みらい育成財団とは

- 三菱グループ創業150周年（明治時代初期）
- 世界の未来を切り拓く若者を育てるための次世代型教育システムを作り出したい（教育プログラムへの助成）
- 高校生を対象とする探究型学習プログラム
大学1、2年生を対象とする21世紀型教養教育プログラムなど
- およそ12万人の若者たちが私たちの助成事業に参加。

三菱みらい
育成財団の
概要と実績

事業規模

活動期間
10
年間

総事業費
100
億円

助成実績

助成件数
42
都道府県

累計
220
団体
うち全国の高校152校助成

参加者数計
12
万人

わたしたち三菱グループ社員も
高校生を応援しています！

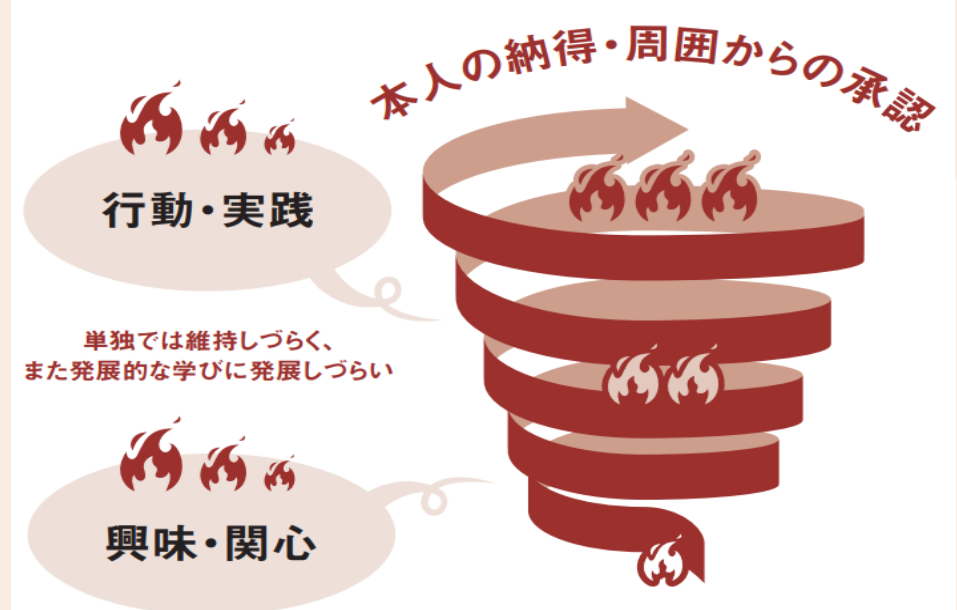


心のエンジンの駆動の仮説・構造化

● 心のエンジンが駆動する要素は？

- ・ 「興味・関心」と「行動・実践」。そして、「納得・承認」
- ・ これが、キーワード

心のエンジンの着火点



心のエンジンの駆動の仮説・構造化

● 心のエンジンが駆動する要素は？

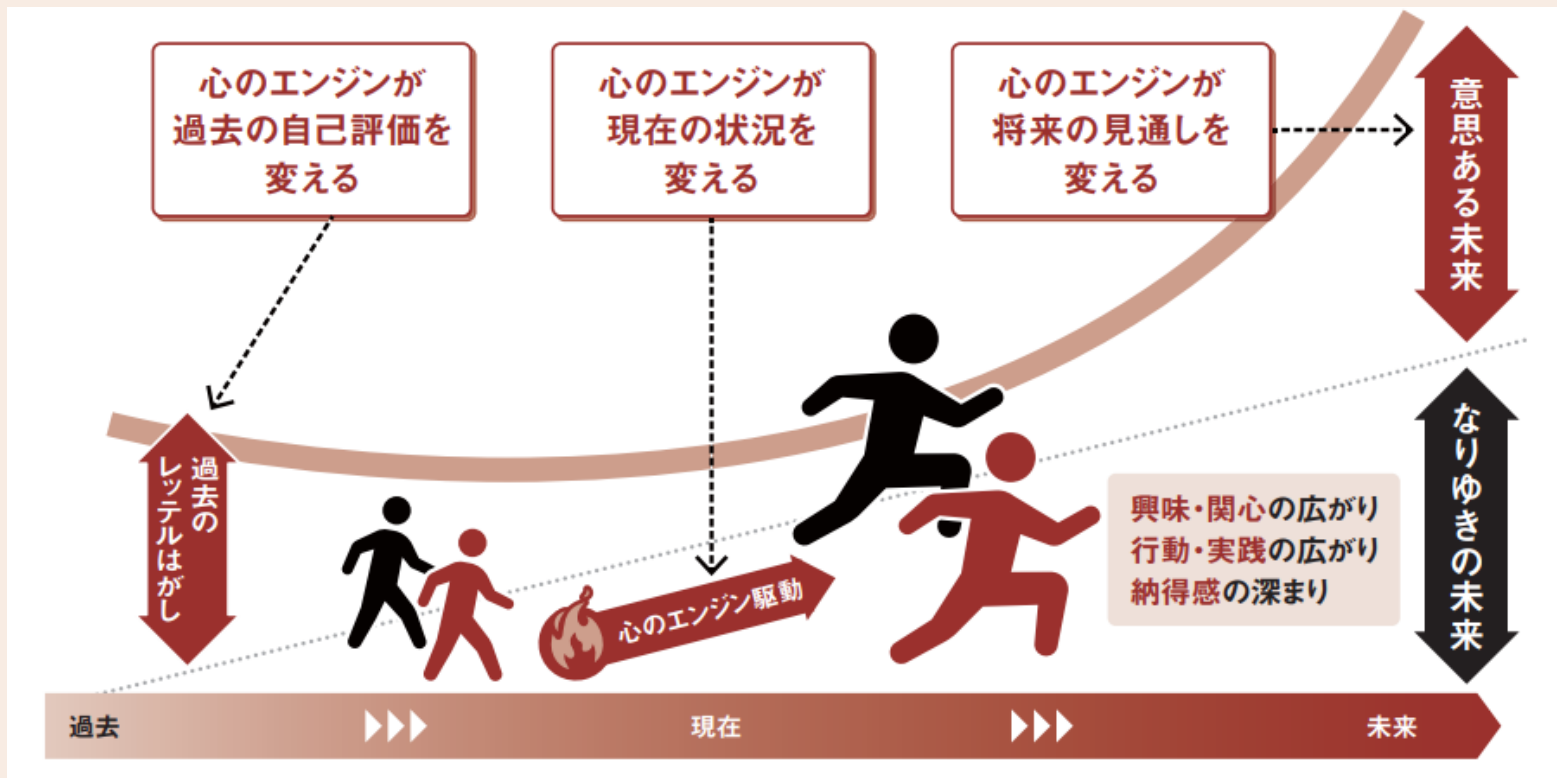
- 「納得・承認」が介在することで、モチベーションと学びが持続的サイクルに



心のエンジンの駆動の仮説・構造化

● 心のエンジンの駆動による見通しの変化

- 心のエンジンを駆動されることが、現在を変え、未来を変え、そして自分の過去への評価を変える。
- 心のエンジンを駆動させて取り組むことが、自己肯定感につながる



仮説の検証（1）

● 高校魅力化評価システムを使った定量調査からの考察

- 学校単位で生徒の「心のエンジン」が駆動
- 生徒の自己肯定感が一貫して向上
- 興味・関心、行動・実践は2021年から2022年にかけて大きく上昇
- 協働的な学び、探究的な学びの経験が豊かな生徒ほど、心のエンジンの駆動度が高い
- 心理的安全等の「納得・承認」の環境が豊かな生徒ほど、心のエンジンの駆動度が高い

仮説の検証（２）

● Good Practiceの共通点

- アンケートからの「定量調査」に加え、現場の先生方のヒアリングした「定性評価」からの気づき（６つの共通点）

- 探究的な学びのための土壌づくり
- 教員が「教える・指導する」ことを手放す
- 学年を超えて学びあう仕組みづくり
- 心のエンジンの駆動を偶発的に刺激する様々なプログラム
- 「本気の大人」や社会課題の「現場」と出会える機会
- 教科学習や進路指導も含めた全面的な探究化